

「1から始める」タブレット初級講座 ～入門編



タブレットは、パソコンとスマートフォンの中間に位置すると言ってもよい機器です。パソコンより小さいため持ち運びやすく、スマートフォンより大きいので、動画や写真などを大きい画面で見ることができます。操作は、スマートフォンのように指一本で操作できるため、手軽に使い始めることができます。タブレット初級講座 ～入門編では、初心者でも「1から始める」ことができるように、Android タブレットの説明と初期設定について説明しています。操作を一つ一つ確認しながら本講座をご利用ください。



はじめに 本講座テキストについて

Step1 タブレットの説明

1. タブレットとは
2. 各部説明
3. タブレットの指での操作
4. キーボードの入力

Step2 タブレットの初期設定

1. 電源のオンオフ
2. Androidの初期設定



はじめに 本講座テキストについて

【講座テキストの注意事項】

本講座テキストは、以下の注意事項に同意いただいたうえで、ご利用くださいますようお願いいたします。

- 本講座は、Android タブレットを用いた使用方法を説明しています。
- 本講座は、2016年6月に作成されたものです。画面の表示や機能、操作手順、製品名やその価格、サービス内容等が事前のお知らせなしに変更される場合があります。
- 本講座に記載されている画面表示やソフトウェアの内容は、各メーカーの仕様により一部異なる場合があります。各タブレット端末固有の機能については、タブレット端末付属の取り扱い説明書をご参照ください。
- 本講座に記載されているインターネットの情報については、URL(アドレス)や画面表示が変更されている場合があります。
- 本講座の全部、または一部について、配信元からの許諾を得ずに無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳等は禁じられています。また、本講座テキストの第三者への譲渡、売却等も禁じます。
- 本講座に記載されている操作によって生じるハードやソフトウェアの故障、データの紛失等については、一切保証できません。大事なデータなどは必ずバックアップを取ったうえで、操作してください。
- 本講座の内容について万全を期して作成しておりますが、万一、不備な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、お手数ですが講座テキスト配信元までご連絡ください。
- Google、Google Chrome、Android、Google Maps および Googleマップ 等は、Google Inc. の商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。なお、本講座テキストにおいては、™ および®、©表記は省略しています。

講座テキストの注意事項についての確認をお願いしています。

【講座テキストの見方】

各講座のテキストは、それぞれ入門編、基礎編、応用編に分けて、順に説明しています。また各ページは、基本的には下の図のように縦二列に分けて表記しています。



タブレット端末操作の際のタッチ操作については、下の図のように表記しています。

タップ	ダブルタップ	フリック
ドラッグ		



Step 1 タブレットの説明

どういうものをタブレットって言うのかな？

1. タブレットとは

タブレットは、パソコンとスマートフォンの中間に位置するといってもよい機器です。スマートフォンより液晶が大きく、動画や画像を大きい画面で見ることができます。また、無線LANで接続をし、インターネットやメールを見ることができます。

● 液晶が大きい

タブレットの大きさは小ささまでですが、7インチ以上の大きさが一般的です。一方、スマートフォンは、大きい液晶でも5.5インチ前後です。



● 無線でインターネットができる

ご自宅や、外出先に無線の環境があれば、接続することでインターネットページやメールの閲覧ができます。



● タッチパネルの簡単操作

操作は、スマートフォンのように指でタッチして簡単に操作することができます。



● ノートパソコンより持ち運びが簡単

一部のノートパソコンを除いて、タブレットのほうが軽く、持ち運びが簡単なため、ノートパソコンより、気軽に持ち出すことができます。*写真はタブレットケースELECOM TB-08PCシリーズです。



● Android OS（アンドロイド オーエス）

Android（アンドロイド）タブレットは、Googleが開発した「Android OS」を搭載したタブレットです。Googleのさまざまなサービスと連携しているのが特徴です。



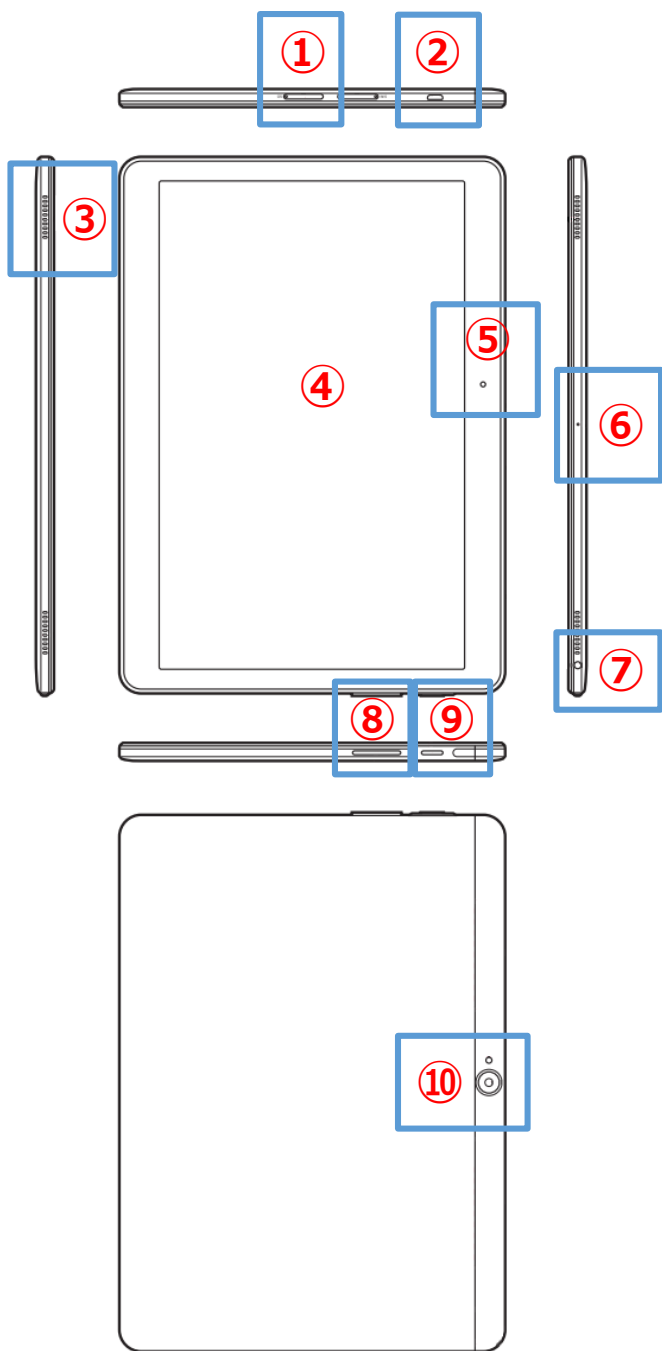


タブレットの各部の名称と役割を説明します。

Step 1 タブレットの説明

2. 各部説明

前項でタブレットの大まかな概要を説明しました。ここからは、タブレットの各部分の名称と役割の説明をします。こちらでは Huawei Technologies のタブレット端末『d-01H』を参考に説明します。



① microSDカードスロット

microSDカードを使用する場合はここを使用します。

② 外部接続端子

充電やパソコン接続時に使用します。

③ スピーカー

音はここから出ます。

④ ディスプレイ(タッチパネル)

映像を表示します。ここに指を触れて操作します。

⑤ インカメラ

ビデオチャットをする場合等に、このカメラを使用します。

⑥ マイク

音声入力に使用します。

⑦ イヤホンジャック

イヤホンを使う場合はこのジャックを使用します。

⑧ ボリューム

音量の上げ下げを行う場合に使用します。

⑨ 電源ボタン

電源のオンオフを行う場合はここを使用します。

⑩ アウトカメラ

撮影する際は、通常こちらのカメラを使用します。



Step 1 タブレットの説明

Android（アンドロイド）の
タッチ操作を覚えましょう。

3. タブレットの指での操作

Android（アンドロイド）の操作は指を使った**タッチ操作**です。ここでは、**タッチ操作**の方法を説明します。

● タップ

画面を軽く**ポン**と**1回押す**ことを**タップ**といいます。
ソフトを起動したり、画面上のアイコンなどを選択したりする際に使用する、最も使う頻度が高い操作です。



● ダブルタップ

画面を軽く**ポンポン**と**2回押す**ことを**ダブルタップ**といいます。Webページなどの画面の拡大をする際に使用します。



● ロングタップ

画面を**1秒以上押す**ことを**ロングタップ**といいます。
メニューを表示させる際に使用します。



● ドラッグ

画面のアイコンなどを**指で押さえながらす〜と移動**することを**ドラッグ**といいます。アイコンの移動をする際などに使用します。



● フリック

画面に触れた指を**上下左右にすつと弾く**ように操作することを**フリック**といいます。画面を切り替える際に使用します。



● ピンチイン

画面を2本の指でつまむように**内側に移動させる**ことを**ピンチイン**といいます。画面の縮小をする際に利用します。



● ピンチアウト

画面を2本の指でつまみ、**外側に移動させる**ことを**ピンチアウト**といいます。画面の拡大をする際に利用します。





Step 1 タブレットの説明

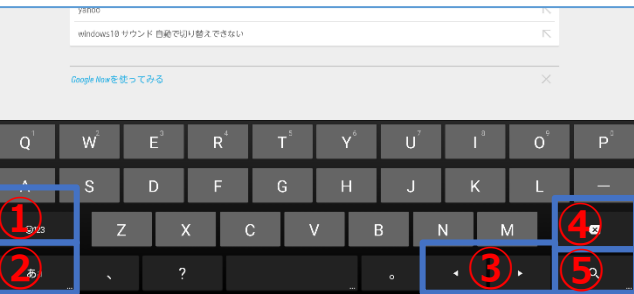
Android のキーボード操作を確認しましょう。

4. キーボードの入力

Android のキーボード操作を確認しましょう。
Android のキーボードは種類がいくつかありますが、ここではGoogle日本語入力の説明をします。 **フルキーボード**と**テンキー**があり、フルキーボードはパソコンのキー配列と同じ表示になります。テンキーの場合は、携帯電話と同じキー配列になります。

● フルキーボード

フルキーボードの各部分の説明をします。



① 記号キー



絵文字や記号の切り替えを行います。

② 文字キー



ローマ字入力と英数入力の切り替えができます。

③ 戻る・進む



カーソルを進めたり戻したりできます。

④ 削除



文字の削除をします。

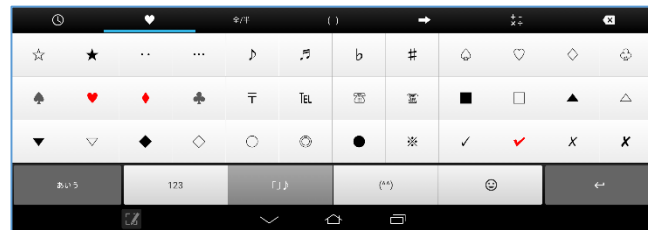
⑤ 決定・改行



入力の決定または、改行をする際に使用します。

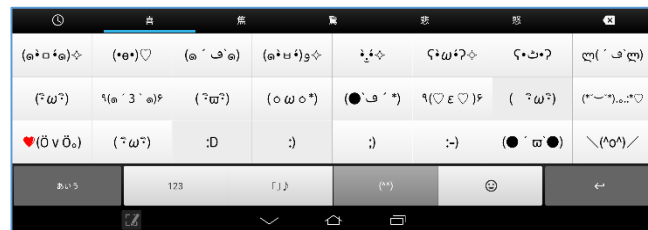
● 記号

「！」や「？」などの記号の入力ができます。



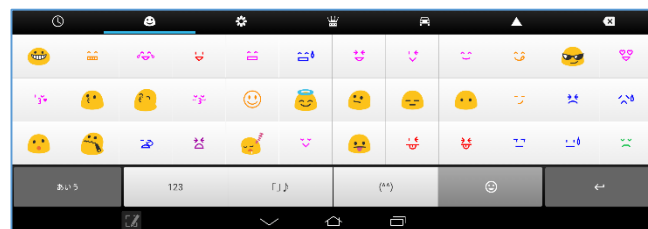
● 顔文字

顔文字の入力を行うことができます。



● 絵文字

絵文字の入力ができます。



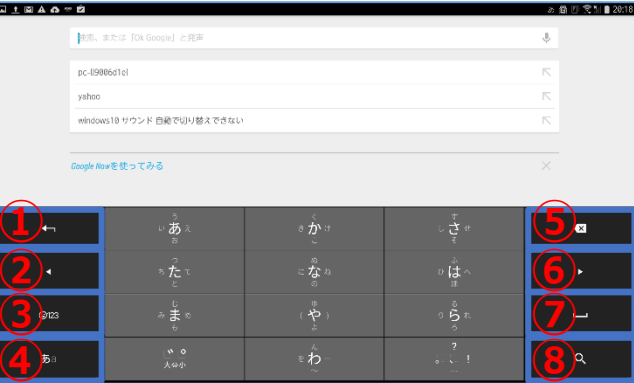


Step 1 タブレットの説明

Android のキーボード操作を確認しましょう。

● テンキー

テンキーの各部の説明をご説明します。



① 戻す

入力した文字を変更できます。

② 戻る

カーソルを戻します。

③ 記号キー

絵文字や記号の切り替えを行います。

④ 文字キー

ローマ字入力と英数入力の切り替えができます。

⑤ 削除

文字の削除をします。

⑥ 進む

カーソルを進めます。

⑦ スペース

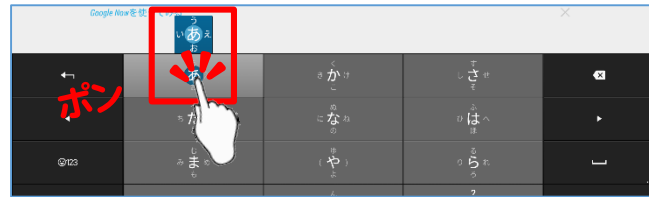
スペースを入力します。

⑧ 決定・改行

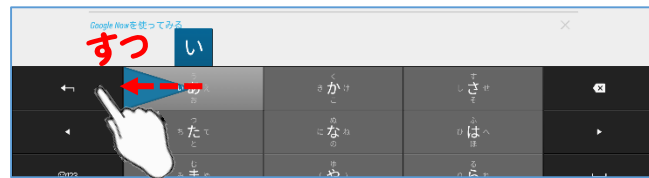
入力の決定または、改行をする際に使用します。

● テンキーの入力

テンキーの入力は「フリック」を使用します。入力したい行のキーをタップすると、上に選択したキーが表示されます。



入力したいキーの方向へフリックすると、文字が入力されます。

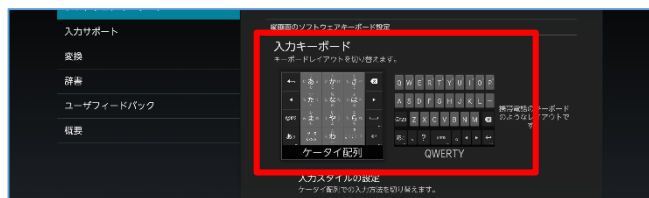


● フルキーボードとテンキーの切り替え

入力の際に、「文字キー」をロングタップし、「Google日本語入力」をタップします。



入力キーボードの欄で「ケータイ配列」と「QWERTY」を選択することでテンキーとフルキーボードの変更ができます。





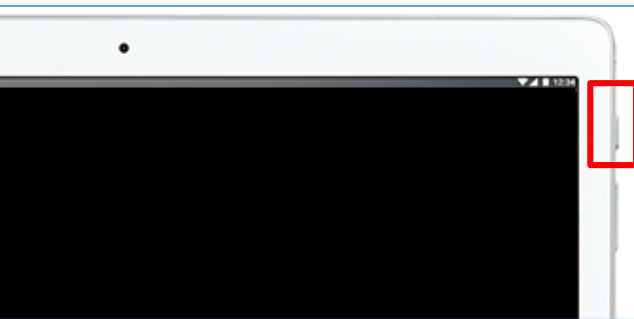
Step2 タブレットの初期設定

まずは、タブレットの電源を入れてみましょう。

1. 電源のオンオフ

● 電源を入れる

電源の入れ方を確認しましょう。まずは電源が入っていない状態で、**電源ボタンを長押し**します。



起動したら画面中央のロックアイコンを上フリックすると、ロックが解除されます。*機種によってはロックアイコンを外側に向かってフリックするものもあります。



● 電源を切る

電源ボタンを長押しして、「**電源を切る**」をタップします。



「OK」をタップすると、電源がオフになります。電源を切っていれば、バッテリーの持ちも良くなります。

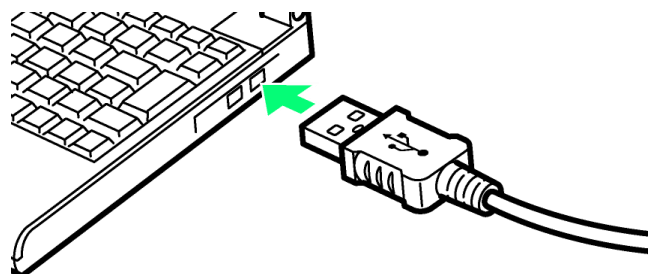


● 充電について

タブレットは、電源を落とさずに使っていると、1日でバッテリーがかなり少なくなってしまう。USBコネクタにケーブルを挿し、付属の充電コネクタを接続することで充電ができます。



パソコンにUSBケーブルを繋ぐことでも充電が可能です。充電の際には、例外もありますが、通常はパソコン側の電源が入っている状態で充電します。



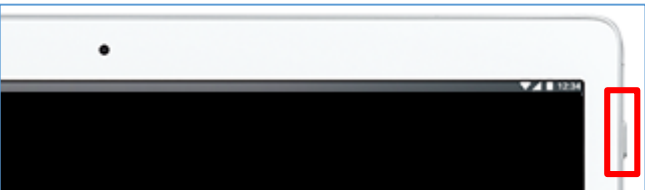


Step2 タブレットの初期設定

Android の初期設定をはじめましょう。

2. Android の初期設定

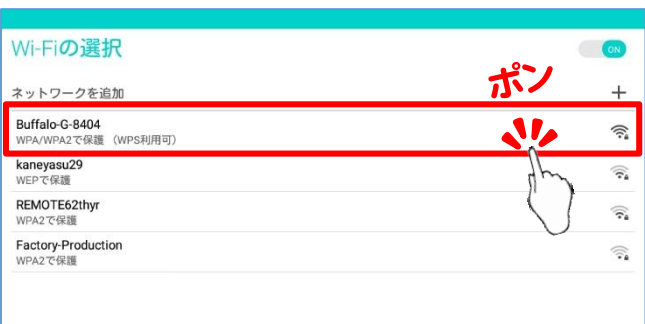
Android タブレットを購入して最初に電源を入れると、この初期設定が始まります。 それでは、電源ボタンを長押しして、電源を入れてみましょう。



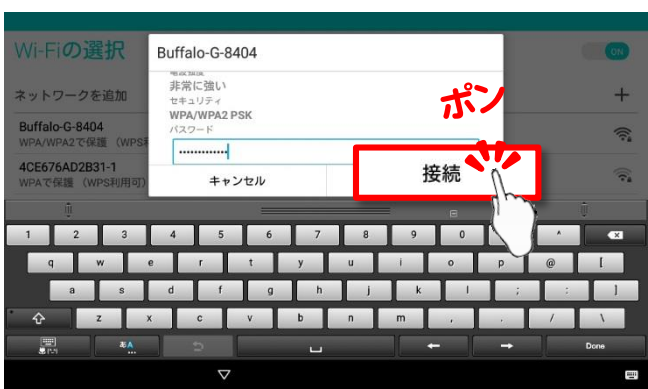
ようこそ画面が表示されますので「▶」をタップします。



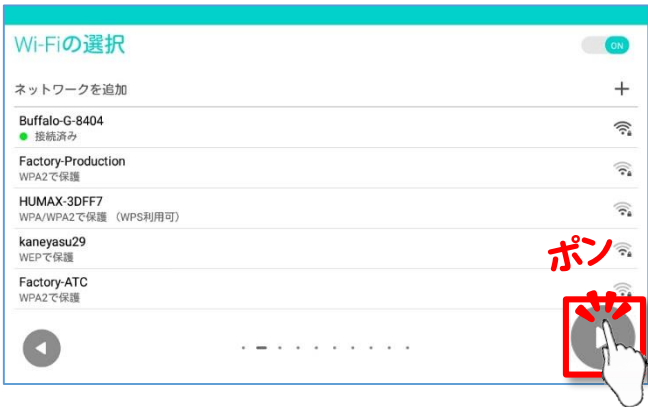
Google アカウントの作成をする上で、Wi-Fiネットワークの接続が必要です。 利用されているWi-Fiの機器(無線ルーター)のアクセスポイント(SSID)を選択します。



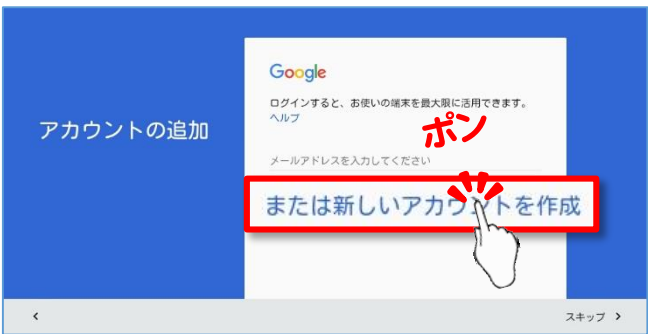
パスワードの入力を求められますので無線ルーターの暗号化キー(KEY)を入力して、「接続」をタップします。



接続が完了したら「▶」をタップします。



「Google アカウントの追加」という画面が表示されます。 既にお持ちであればメールアドレスを入力、作成しない場合は「スキップ」を選択します。 今回は、「または新しいアカウントを作成」を選択します。



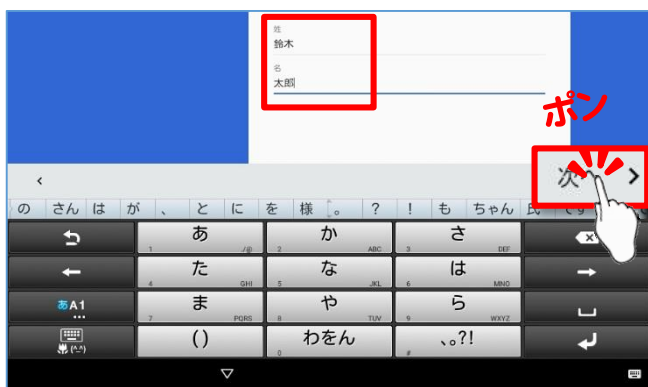
「1から始める」タブレット初級講座 ～入門編



Step2 タブレットの初期設定

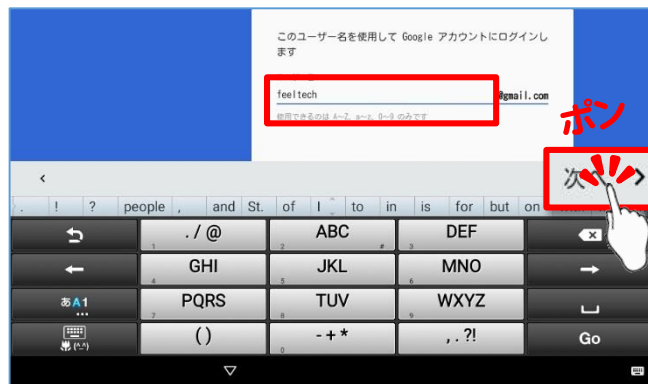
パスワードは忘れないように
メモをとっておきましょう。

姓名を入力して、「次へ」をタップします。

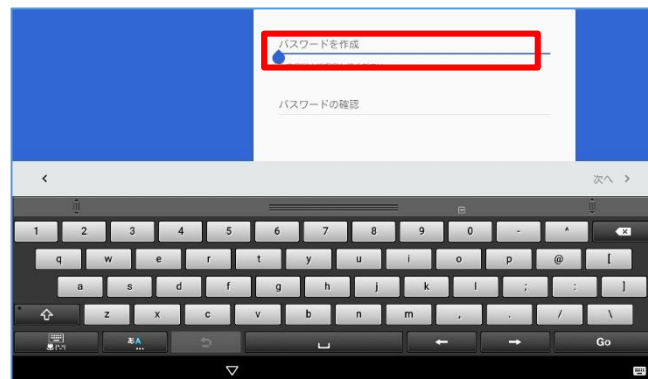


アカウント名を決めて入力し、「次へ」をタップします。

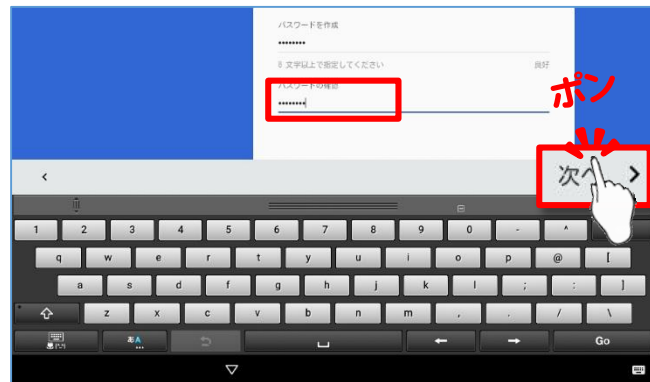
ここで作成したアカウントは、Gmail サービス等で利用できます。



次にパスワードを決めて入力します。半角英数8文字以上のパスワードにする必要があります。



パスワードの再確認が表示されます。先ほど入力したパスワードを再度入力し「次へ」をタップします。



電話番号を追加画面が表示されます。もしパスワードを忘れた場合は、この項目を設定しておくことで後で変更ができます。後からでも設定可能なため、今回は「スキップ」をタップします。



同意確認画面が表示されます。内容を確認し、問題がなければ「同意する」をタップします。



「1から始める」タブレット初級講座 ～入門編

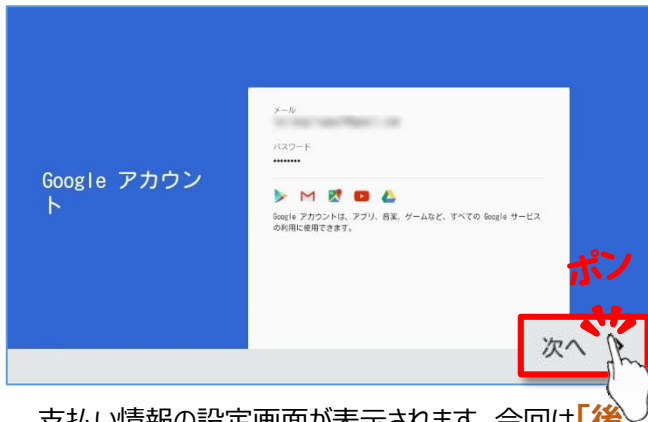


Step2 タブレットの初期設定

最終確認が表示されます。
これで設定は完了です。

Google アカウントの確認画面が表示されます。

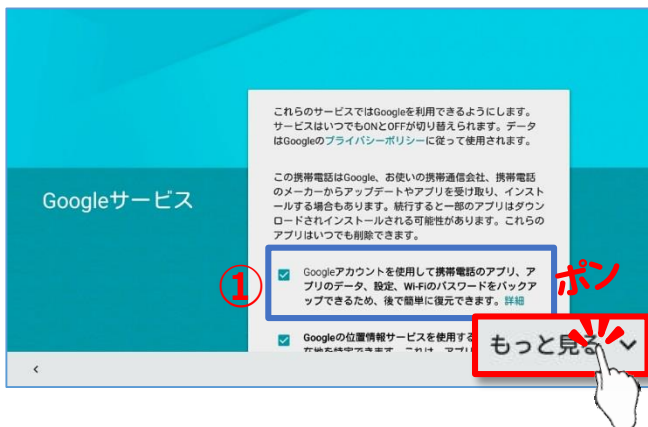
問題がなければ、「次へ」をタップします。



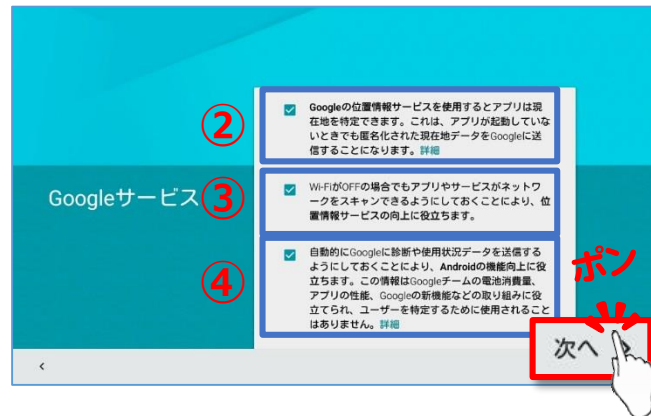
支払い情報の設定画面が表示されます。今回は「後で」をタップし、「次へ」をタップします。



Google サービスの項目が表示されます。「もっと見る」をタップすると、他の項目が表示されます。ここではチェックが入っている各項目を簡単に説明します。



問題がなければ「次へ」をタップします。各端末の設定が始まります。必要に応じて設定を進めます。



- ① Google アカウントを使用して、Google ヘデータを保存します。
- ② この機能を有効にすると、アプリからの現在地情報の特定を許可します。アプリの位置情報サービスを使用する際に必要です。
- ③ Wi-Fi がOFFの時でもWi-Fi の電波を探します。
- ④ Google に、利用している端末の使用状況などを送信します。

ホーム画面が表示されました。



これで、「1から始める」タブレット初級講座～入門編は終了です。お疲れ様でした。次の基礎編へ続きます。